

令和5年（2023年）度事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会

令和5年（2023年）度事業の概要を下記のとおり報告する。

1. 会員の状況

2024年3月31日現在

会員の種類	期首	入会	退会	現在
正会員	24	1	1	24
賛助会員	47	1	3	45
計	71	2	4	69

入退会内訳

正会員

【入会】(1社) 積水化学工業(株)

【退会】(1社) 積水テクノ成型(株)

※4/30付けにて、日本インシーク(株)が退会

賛助会員

【入会】(1社) センクシア(株)

【退会】(3社) 鳥居化成(株)、(一社) 地下貯水工法研究会、(株) NIPPO

2. 社員総会、理事会等の開催

(1) 社員総会

・第12回定時社員総会

開催日：2023年5月26日 ベルサール神保町3F ROOM5

正会員総数 24名

出席等 出席会員数 19名

委任状 3名

欠席 2名

議事（決議事項）

第1号議案 令和4年(2022年)度事業報告承認の

第2号議案 令和4年(2022年)計算書類及び同附属明細書承認の件

第3号議案 令和5年度役員報酬承認の件

第4号議案 役員選任の件(辞任による補充選任)

(報告事項―第 40 回理事会決議事項)

令和 5 年度事業計画書報告の件
令和 5 年度収支予算書報告の件
特定費用準備資金規定新設の件

◇決議事項 4 議案については、審議の結果事務局原案のとおり可決承認された。

(2) 理事会等

・社内監査 (2023 年 4 月 28 日)

監事 2 名による、令和 4(2022)年度の収支及び財産の状況並びに理事の業務執行状況について監査が行われ、いずれも適正であるとの承認を受けた。

・第 38 回理事会 (2023 年 5 月 10 日)

上記理事会を決議の省略(書面決議)により開催し、第 12 回定時社員総会への提出議案である「令和 4 年度事業報告及び決算関係書類」の審議を行い、いずれも事務局原案通り全員一致で承認された。

・内閣府定期提出書類等の提出

- ・令和 5 年度事業計画、収支予算 (2023 年 3 月 27 日)
- ・変更届(役員補選による新役員の届出) (2023 年 6 月 27 日)
- ・令和 4 年度事業報告等関係書類 (2023 年 6 月 28 日)

・内閣府立入検査 (2023 年 8 月 21 日)

内閣府公益認定等委員会事務局から 3 人の検査官が来協し、令和 4 年度事業報告に関わる運営組織および事業活動の状況について検査。法人の運営、公益業務、会計処理等が適正に行われているとの評価であった。8 月 28 日に立入検査実施報告が公益認定等委員会の委員に説明され審査完了となった。

・第 39 回理事会

開催日：2023 年 10 月 12 日 場所：雨水協会会議室 Web 併用

理事総数 10 名 出席理事数 10 名(うち 1 名 Web 参加) 出席監事 2 名

議案(決議事項)

第 1 号議案 『入会伺い』の件 (センクシア(株))

第 2 号議案 『下期 役員報酬額承認』の件

(報告事項)

- ① 役職理事の職務執行状況報告
- ② 第 39 回技術講習会の開催について
- ③ 内閣府立入検査について
- ④ 就業規則の見直しについて

◇決議事項 2 議案については、審議の結果、事務局原案のとおり承認された。

・役員懇談会（2024年2月5日）

理事7名、監事2名が参加し、今後の協会の活動内容および運営体制等について、意見交換を実施した。

・第40回理事会

開催日：2024年3月21日 場所：雨水協会会議室 Web併用

理事総数10名 出席理事数10名（うち1名Web参加） 出席監事2名

議案（決議事項）

第1号議案 『就業規則改定』の件

第2号議案 『令和6年度事業計画及び収支予算書等承認』の件

第3号議案 『令和6年役員報酬案承認』の件

第4号議案 『第13回定時社員総会の日時及開催場所並びに目的事項等』の件

（報告事項）

① 役職理事の職務執行状況報告

② 令和5年度決算見込みについて

◇決議事項4議案については、審議の結果、事務局原案のとおり承認された。

（3）常設委員会等 （ ）内は開催回数と開催日

① 企画委員会（4回：5/19, 9/12, 10/2, 1/24） Web会議

委員長：日本工営（株） 内山雄介

② 編集委員会（4回：6/5, 9/12, 12/8, 3/5） Web会議

委員長：東京都立大学 名誉教授 河村明

③ 評価認定委員会（4回：6/21, 9/22, 12/21, 2/28）

委員長：東京大学名誉教授 虫明功臣

④ プラスチック製地下貯留浸透施設普及部会（3回：6/15, 9/28, 2/15） Web会議

⑤ プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針改訂共同研究会

a) 調査・計画・施工・維持管理部会（活動なし）

b) 構造・設計部会 Web会議（活動なし）

c) 耐震設計部会 Web会議（9/12）

d) 品質監査部会（7/19）

⑥ G I を考える勉強会

Web会議（10回：6/28, 7/27, 8/23, 9/29, 10/24, 11/24, 12/25, 1/16, 2/13, 3/25）

座長：物林（株） 勝田幸仁朗

⑦ 調整池イノベーションエコシステム研究会

Web会議（7回：10/19, 11/8, 11/24, 12/22, 1/22, 2/26, 3/18）

座長：日本工営（株） 松田貞則

3. 調査、研究、開発

(1) (都市河川流域の) 水循環系健全化方策の検討

① 新たな製品、構造物およびシステムの開発と実用化

- ・踏圧に強く、透水性・保水性の高いグリーンインフラソイルの開発（仮称）
都内公園での実施検討（8/26）
朝霞市（10月）や川崎市（2月）での実施検討を行い、川崎市内の公園で現地試験を実施する方針。

【(公財) 都市緑化機構G B M共同研究会】

- ・緑育型バイオスウェル（緑育型浸透トレンチ）の開発検討
東京ビッグサイトにて開催したグリーンインフラ産業展において、パネル及び模型展示を実施（2/20～22）

【グリーンインフラ勉強会】

② できる限り自然を活かした効果的な方策（緑地の持つ保水機能評価）

- ・樹幹流に関する文献調査を実施し、その制御と利用について検討を実施し、
グリーンインフラ産業展において、パネル展示を実施

【グリーンインフラ勉強会】

③ 雨水の水質制御

- ・深紫外線殺菌による雨水利用（雪解け水の殺菌）を検討

【協会自主研究】

(2) 雨水貯留浸透施設の効果評価の検討

① 開発地域の特性に見合った適切な貯留浸透施設の計画設計の検討

- ・グリーンインフラ推進に向けた雨庭導入に係る検討（受託：UR 都市機構）
- ・現地浸透試験及び浸透施設の基本設計（UPG ホールディングス）
- ・世田谷区雨水流出抑制技術指針（案）作成に技術協力
- ・高架道路から雨水排水の高架下での貯留浸透処理（受託：グリーンインフラ総研）
- ・開発に伴う雨水貯留浸透槽の規模検討（受託：村田登記測量設計事務所）

② 流域、都市、開発地域等での効果について、解析的な評価手法や簡便な評価手法を適用した検討

- ・既存調整池の放流方式の変更による対策貯留量の増強効果の検討

③ 現地浸透能力調査

- ・現地浸透試験（受託）
取手：UPG ホールディングス（5/20）、柏：UR（7/27・28）
- ・つくばみらい：高砂熱学工業（10/4）、横浜：日之出水道（10/23・24）、
熱海：伊豆箱根サービス（1/29）
- ・イタリア大使館敷地内の水文環境評価のための地下水位観測孔設置（3/14）

(3) 全国における貯留浸透施設普及状況の実態把握と普及方策の検討

① 雨水・再生水利用施設データマップの更新・充実

活動なし

② 普及を促進するための仕組みの検討

・塩化ビニル管・継手協会の協力のもと、雨水浸透ますの模型をグリーンインフラ産業展にて展示

③ 「雨水しみこみプロジェクト」への協力

九都県市*が連携・推進している上記プロジェクトについて、東京都より業界団体として協力して欲しいとの依頼あり

※埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市
・さいたま市・相模原市

(4) 雨水貯留浸透技術のアジアモンスーン地域への展開検討

① JICA「民間企業海外展開支援事業」

・膨張粘土及び軟弱地盤地域におけるインフラ被害への多孔質コンクリート製品導入案件化調査（北海道ポラコン）

第4回渡航（6/4～10）、業務完了報告会（8/30）

・JICA ビジネス化実証事業採択に向けて、

北海道ポラコン、インドネシア Siam Cement Group 社との MOU と NDA を締結

・インドネシア国雨水による浸水被害軽減のためのポーラスコンクリート製品導入に係るビジネス化実証事業

（北海道ポラコン採択 12/25、キックオフミーティング 2/22）

4. 雨水貯留浸透技術を活用した施設に関する技術的基準の作成

(1) 新たな製品・工法・システム等（技術評価を取得した類似製品及び工法など）に関する技術指針・マニュアル等の整備を行う。

① プラスチック製地下貯留浸透施設普及部会

・普及部会（6/15, 9/28, 2/15）

令和4年度実績調査（累計 1,050 万³m, R4 年度 80.9 万³m）

材料試験結果およびプラ技術指針改訂についての報告

② プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針改訂共同研究会（計画・設計・施工・維持管理、品質管理）

・昨年度までの検討事項を踏まえ、事務局で改訂案作成

・プラ製貯留構造体の材料物性試験の実施（DJK にて試験）

・プラ製地下貯留施設のモニタリング継続実施（水位、土圧、変位、温度）

・指針改訂共同研究会

a, 調査・計画・施工・維持管理部会（10/20）

b, 構造・設計部会（開催なし）

c, 耐震設計部会（10/11, 11/21, 12/12）

- ③ ポーラスコンクリート浸透施設技術指針策定
 - ・初回打合せ（共和コンクリート・マテラス青梅，5/12）
- ④ グリーンインフラを考える勉強会の運営
 - ・グリーンインフラ（GI）を考える勉強会を11回開催し、樹幹流の活用、緑育型バイオスウェル、GI産業展への対応
 - 第2回グリーンインフラ産業展へGI勉強会として出展
- ⑤ 雨水貯留浸透施設製品便覧・雨水活用製品便覧の改定版の検討
 - ：雨水の貯留・浸透・利用・蒸発散に関連製品の総合カタログ
 - 活動なし
- ⑥ 既設調整池イノベーションエコシステム研究会
 - ・発足説明会（6/21）、意見交換会（7/12, 8/29）
 - ・自治体ヒアリング（横浜市7/14, 川崎市7/18）
 - ・店舗開発会社ヒアリング（8/31）
 - ・民間事業者ヒアリング（大和リース12/14, 東急1/19, ミズノ3/15）
 - ・研究会の運営
 - 第1回～7回（10/19, 11/8, 11/24, 12/22, 1/22, 2/26, 3/18）
 - ・令和6年度先導的官民連携支援事業への応募検討（川崎市2/15）

5. 雨水貯留浸透技術の普及啓発活動

（1）図書等の発行・頒布

- ① 機関誌「水循環 貯留と浸透」 第128号～131号
 - 各号特集テーマ 128号 特別号「雨水」：流出抑制施設の維持管理
 - 129号「マテリアル×雨水」
 - 130号「みどり×雨水」
 - 131号「交通×雨水」
- ② 雨水浸透施設技術指針等発行図書の頒布
 - 頒布数：14種 計864冊 頒布先延べ数：379件
- ③ 機関紙の電子化・Web公開
 - 4月より「雨水技術資料」及び「水循環 貯留と浸透」のバックナンバーをホームページ上で無料公開（3/31現在登録数：351）
- ④ 雨水貯留浸透技術評価認定技術のPR
 - ・PR動画等の公開
 - 「HPの雨水貯留浸透技術評価認定取得技術（工法）・製品の検索」でWeb閲覧

(2) 技術講習会・施設見学会の開催

第39回 雨水貯留浸透技術講習会

開催期間：2023年11月27日(月)～12月15日(金)

開催方式：ビデオ・オン・デマンド方式でのWeb講座

受講者数：96名(自治体職員、会員・会員外企業等、講師含)

※土木学会継続教育(CPD)プログラム認定講習会

流域治水・気候変動適応の最前線！	
題 目	講 師
治水行政に関する最近の動向 流域治水プロジェクト2.0	国土交通省 水管理・国土保全局治水課 課長補佐 萩原 健介
埼玉県における総合治水対策を振り返る ～雨水流出抑制条例策定から17年～	埼玉県県土整備部 河川砂防課
地域と進める防災まちづくり (江の川中下流域マスタープランへの技術支援)	独立行政法人都市再生機構災害対応支援室 担当課長 守家 隆志
佐賀市におけるお濠の貯留機能を活用した 流域治水の取り組み	佐賀市建設部 河川砂防課 水問題対策室 室長 田中 慎司
JR 東日本における 気候変動による洪水リスクの開示(TCFD)	東日本旅客鉄道株式会社 経営企画部門 ESG・政策調査ユニット マネージャー 矢野 順一
スーパー湧水の概念誕生の背景と その対応・実践について	元徳島県副知事 株式会社丸島アクアシステム 専務執行役員 海野 修司
河川教育及び防災教育に関する 学校関係者等の交流の場	公益財団法人河川財団 河川・水教育センター 子どもの水辺サポートセンター 主任研究員 菅原 一成
土砂災害による人的被害をゼロにする 戻り苗の森プロジェクト	株式会社ソマノベース 代表取締役 奥川 李花
既設調整池の能力強化と有効活用について ～調整池の覆蓋事例～	公益社団法人雨水貯留浸透技術協会 調整池イノベーションエコシステム研究会
講演時間合計	4時間30分

※『見学会』は未実施

(3) 普及・啓発のための雨水貯留浸透施設の展示・セミナーの開催等

* グリーンインフラ産業展 出展

東京ビッグサイトにて『持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりに向けて』をテーマに、グリーンインフラに関する技術、製品、サービスを一堂に紹介する展示会「グリーンインフラ産業展 2024」が開催され、昨年引き続き GI 勉強会として出展した。(2/20・22)

* ARSIT Learning Salon

「日常と非常時の壁をなくす新しい「備え」フェーズフリーなまちづくり」開催
講師：フェーズフリー協会代表理事 佐藤唯行

(9/27 参加者数：15名)

* あまみず交流会

企画委員会の発案により、会員の多様性を強みとし、個々の企業では得られなかった新たなニーズや人脈、情報を発掘し、雨水ビジネスの発展、新規顧客開拓、会員間での協働ビジネスにつなげていくための、気軽な情報・意見交換（サロン）の場として「あまみず交流会」を定期（毎月第三水曜日/10月から第二水曜日へ変更）開催。

参加人数	開催	話 題 提 供	
9 雨 (19 名)	4/19	これまでの振り返りとこれから	雨水協会
10 雨 (11 名)	7/19	公的不動産の活用～浮体式太陽光発電事業例～	三井住友建設
11 雨 (10 名)	9/20	雨水貯留浸透機能に着目したグリーンインフラの取組み状況と暑熱緩和機能	日本工営
12 雨 (16 名)	10/11	リアルタイム水位観測装置の紹介	建設技術研究所
13 雨 (13 名)	11/8	雨水貯留浸透路盤材 NS 路盤層について	日本植生
14 雨 (6 名)	12/13	雨水で面白いことやってみよう！	雨水協会
15 雨 (13 名)	1/10	雨水貯留浸透施設に関わるポンプ設計について	鶴見製作所
16 雨 (15 名)	2/14	深紫外線 LED 水除菌製品と雨水利用のご紹介	日機装
17 雨 (7 名)	3/13	レインカーテン ～小雨から豪雨までの雨を再現する～	テクノコア

(4) 雨水貯留浸透技術に関するPR及びパンフレットの作成・配布

- ・全国1級造園施工管理技士の会（一造会）の会報 No. 58 に寄稿：
「水緑（みりょく）あるグリーンインフラが生活環境に与える恩恵」（2/20 発行）

(5) 雨水貯留浸透技術に関する問い合わせへの対応

国、自治体、企業、コンサルタント、個人等からの電話、メール等による問い合わせ、相談等に対応した。

- * 駐車場舗装（透水性舗装）等を含めた
グリーンインフラの浸透性能のモニタリング方法についての相談
(長野県環境研究所 5/23)
- * 雨水貯留浸透施設等の条例義務についての情報収集
(国土交通省 下水道部 8/2)
- * 脱炭素に関する河川や調整池等における取組、
浸透の評価方法やその効果を盛り込んだ河川整備計画についての情報収集
(川崎市 総務部企画課 12/18, 1/31)
- * 次期施設の建設に伴う流出抑制施設の基本設計・実施設計についての相談
(印西クリーンセンター次期施設推進室 12/22)
- * 雨水利用についての情報交換
(松山市 水資源対策課 2/8)
- * 雨水浸透施設の普及・広報（雨水しみこみプロジェクト）についての相談
(東京都 都市基盤部 2/19, 3/26)

(6) 雨水貯留浸透技術に関する社外講演及び学会発表（海外含む）

① 市民団体や関係機関等の依頼による講演活動

*群馬県建築士会講習会講師派遣

:「開発・宅地造成における雨水排水処理について」 (6/2)

*全国建設研修センター宅地造成技術講習講師派遣

:「宅地造成と雨水流出抑制」 (7/6)

*水コン協東北支部実務者研修・技術講習会講師派遣

:「流域治水における雨水貯留浸透技術」 (10/20)

*第31回 日本雨水資源化システム学会大会での発表

:「集合住宅に設置した雨庭の効果調査（速報）

～流出抑制効果と暑熱低減効果について～」 (11/3・4)

*日建連環境技術部会グリーンインフラ WG との意見交換 (11/20 参加 13 名)

*令和5年度茨城県宅地開発協議会茨城県開発許可等実務者研修に講師派遣

: 雨水貯留浸透施設の計画設計・維持管理について (11/28、参加 88 名)

*中央大学都市雨水管理研究ユニット（古米教授主宰）の研究サロンに講師派遣

: 気候変動×〔グリーンインフラ＋雨水貯留浸透〕

～気候変動に対して、雨水貯留浸透はどう役立つか？～ (1/18、参加 50 名)

② 海外国際会議等での発表

実施なし

(7) 雨水貯留浸透技術のデータベースの作成及び情報提供

・プラスチック及びコンクリート製地下貯留槽の施工実績調査の実施

2022 年度実績

貯留槽：1433 件 374,265.6 m³ 浸透槽：3738 件 507,807.1 m³ 貯留浸透槽：0 件

調査結果詳細については、機関誌やホームページで公開。

6. 雨水貯留浸透技術評価認定

(1) 技術評価の実施（新規・更新）の実施

平成8年6月1日に雨水貯留浸透技術評価認定制度がスタートし、昨年度までに技術評価認定46件、OEM版3件、製品評価認定28件、技術推薦6件を実施した。

今年度の状況は、下記のとおりである。

【令和5年度評価認定書交付状況等】

*技術評価認定

・アクアポンドM工法（新規） ヤマウ

*製品評価認定

・タフタフパーク・グラスストロング（新規） 日本植生

*その他

有効期間満了に伴う認定

技術評価 13 件

・アクアプラ工法	明治ゴム化成・タキロンシーアイ
・ニュートレンチ工法	秩父ケミカル
・MA-1 工法	アロン化成
・ジオプール AE-1 工法	日東商事
・GEOCUBE (ジオキューブ) 工法	IHI インフラシステム
・レインセーブ N 工法	タキロンシーアイ
・M. V. P. -Light 工法	ベルテクス
・M. V. P. -Deep 工法	ベルテクス
・スーパージオ工法	プラント・ツリース・日東商事・地耐協
・パーミアコン・パーミアストーン	佐藤渡辺
・エバタプラスチック製雨水貯留浸透工法	エバタ
・ハニカムボックス工法 (H750~2000mm)	松岡コンクリート工業
・ハニカムボックス工法 (H2250~3000mm)	松岡コンクリート工業

* 技評 36 号 セルブレイン工法は 2/29 認定抹消

製品評価 5 件

・グリーンアクアミックス V・K	東邦レオ
・雨水貯留浸透機能付き植栽基盤材	東邦レオ
・透水セル	帝人・秩父ケミカル
・パワーミックス V・K	東邦レオ
・シントー側溝	雨水貯留浸透製品工業会

(2) 技術評価認定監査制度の検討

品質管理項目や監査マニュアル・要綱の検討、暫定・試行的運用

- ・プラスチック製貯留構造体の材料物性試験の実施 (DJK)
 - ・プラ製貯留構造体の材料物性試験結果の評価
- 評価結果については、12/21 の技術評価認定委員会にて報告

(3) 技術評価認定制度の見直し

工法、製品に係る実施要項の統一化他の検討

- ・企画委員会にて検討開始

7. 雨水貯留浸透技術に関する関係機関への協力、提言等

① 公共機関への協力提言等

* グリーンインフラ (GI) 官民連携プラットフォームへの協力

- ・グリーンインフラ官民連携プラットフォームへの協力
技術部会 (6/15, 3/26)
グリーンインフラ産業展実行委員会 (6/28, 8/28, 10/3, 12/18)
- ・GI 産業展メインブース展示協力 (2/20-22)

* 第 16. 17. 18 回なごや水の環復活推進懇談会への水循環アドバイザーの派遣

(8/22, 12/22, 3/22)

② 海外からの調査団等の受け入れ、国際交流等

- ・日中科学技術文化センターより、見学先の相談 (10/3)

③ 外部組織との連携による普及・調査研究業務の実施

* 日本建築学会

- ・あまみず活用の評価を考える小委員会に委員として参加
(4/20, 5/18, 6/22, 7/20, 8/24, 9/21, 10/26)
- ・雨水活用技術規準改定小委員会に幹事として参加
(5/26, 7/27, 9/28)

* 都市緑化機構

- ・G B M共同研究会
(5/29, 6/26, 7/5, 10/4, 10/17, 11/18, 11/30, 1/17, 3/23, 3/28)

* 雨水基準制度研究会

- ・第4回雨水基準制度シンポジウムの開催 (5/17)

* 雨水ネットワーク運営への協力

- ・雨水ネットワーク東北総会参加 (6/2)
- ・雨水ネットワーク世話人会 (8/31, 11/13)
- ・雨水ネットワーク全国大会準備会 (11/27, 12/18)
- ・雨水ネットワーク全国大会 in すみだ実行委員会 (1/22, 2/19, 3/18)

8. その他協会の目的を達成するために必要な事業

- ・コカ・コーラ財団プロジェクトへのアドバイザー支援 [プロジェクト実施者：NPO
雨まちづくりサポート] (4/17, 6/23, 12/13, 12/22, 2/1, 2/4, 2/9, 2/16)
- ・同上武蔵野市NBS (雨庭) 実証試験のモニタリング検討 (3/16)

以上

※令和2023年(令和5年)度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される付属明細書について、「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので作成していません。